

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公表番号】特表 2005-536657(P2005-536657A)

【公表日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-047

【出願番号】特願 2004-530807(P2004-530807)

【国際特許分類】

D 0 4 H 3/00 (2006.01)

D 0 1 F 8/06 (2006.01)

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

【F I】

D 0 4 H 3/00 D

D 0 1 F 8/06

D 0 4 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 7 日 (2006.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

連続ポリマー性フィラメントを含む不織ウェブであって、前記ポリマー性フィラメントは鞘ポリマーと芯ポリマーとを含む多成分フィラメントからなり、前記鞘ポリマーはポリプロピレンポリマー及びモノマーのコポリマーからなり、前記芯ポリマーはポリプロピレンポリマーからなり、前記芯ポリマーは前記鞘ポリマーの熔融温度より少なくとも約 15 ° F 高い熔融温度を持ち、前記連続ポリマーフィラメントは互いに融着されたことを特徴とする不織ウェブ。

【請求項 2】

前記鞘ポリマーは、ランダムコポリマーを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 3】

前記モノマーは、エチレンを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の不織ウェブ。

【請求項 4】

前記モノマーは、約 2 重量 % より小さい量で前記鞘ポリマーに存在することを特徴とする請求項 2 に記載の不織ウェブ。

【請求項 5】

前記モノマーは、約 2 重量 % より小さい量で前記鞘ポリマーに存在することを特徴とする請求項 3 に記載の不織ウェブ。

【請求項 6】

前記連続したフィラメントは、スパンボンドフィラメントを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 7】

前記鞘ポリマー及び前記芯ポリマーは、約 30 g / 10 分から約 35 g / 10 分の熔融流動速度を有することを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 8】

前記鞘ポリマーは、約 110 から約 150 の溶融温度を有することを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 9】

前記芯ポリマーは、メタロセン触媒ポリプロピレンを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 10】

前記芯ポリマーは、少なくとも 98 重量%の量でポリプロピレンを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 11】

前記鞘ポリマーは、約 20 重量%から約 70 重量%の連続したフィラメントを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の不織ウェブ。

【請求項 12】

ポリマー性繊維を含む不織ウェブであって、前記ポリマー性繊維は鞘ポリマーと芯ポリマーとを含む多成分繊維からなり、前記鞘ポリマーはポリプロピレンポリマー及びエチレンのランダムコポリマーからなり、前記エチレンは約 2 重量%より少ない量で前記鞘ポリマー内に存在し、前記芯ポリマーはポリプロピレンポリマーからなり、前記芯ポリマーは前記鞘ポリマーの溶融温度より少なくとも約 15 °F 高い溶融温度を持ち、前記ポリマー性繊維は互いに融着されたことを特徴とする不織ウェブ。

【請求項 13】

エチレンは、約 1.8 重量%より少ない量で前記鞘ポリマー内に存在することを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 14】

前記多成分繊維は、連続フィラメントであることを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 15】

前記多成分繊維はスパンボンド繊維であることを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 16】

前記鞘ポリマー及び前記芯ポリマーは、約 30 g / 10 分間から約 35 g / 10 分間の溶融流動速度を有することを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 17】

前記鞘ポリマーは、約 110 から約 150 の溶融温度を有することを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 18】

前記芯ポリマーは、メタロセン触媒ポリプロピレンを含むことを特徴とする請求項 12 に記載の不織ウェブ。

【請求項 19】

鞘ポリマーと芯ポリマーとを含む多成分スパンボンド連続フィラメントからなる繊維であって、前記鞘ポリマーはポリプロピレンポリマーとエチレンのランダムコポリマーからなり、前記エチレンは約 2 重量%より小さい量で前記鞘ポリマー内に存在し、前記芯ポリマーはポリプロピレンポリマーからなり、前記芯ポリマーは、前記鞘ポリマーの溶融温度より少なくとも約 15 °F 高い溶融温度を有し、前記芯ポリマーと前記鞘ポリマーは、少なくとも約 30 g / 10 分間から 35 g / 10 分間の溶融流動速度を有することを特徴とする繊維。

【請求項 20】

前記芯ポリマーはメタロセン触媒ポリプロピレンを含むことを特徴とする請求項 19 に記載の繊維。